

第2回と第3回の成果を踏まえ、次回（第4回）は守山学区を活性化する取り組みを考えます

第2回 学区の特徴とたからもの

① 中山道関連の街道文化や社寺、遺跡など歴史遺産が豊富

② ホタルや水など自然を残したまち

③ 駅近で生活利便性が高く、人が集まる地域

④ 人口増加により新旧住民が混在

たからもの

- 古代の遺跡
・ 焔魔堂古墳、伊勢遺跡
- 古高俊太郎
・ 古高俊太郎、俊太郎道、俊太郎石碑
- 中山道関連資源
・ 伊勢道、甲屋、一里塚、旧中山道 中山道守山宿、中山道の古い街並うの家、十王寺の住蓮房母公墓 など
- 由緒ある神社仏閣が点在
・ 十王寺、天満宮、諏訪神社、皇大神社、樹下神社、石仏、お地蔵さんなど
- 栗太郡物部村と野洲郡守山村合併の歴史
・ 物部村 消えていく小字名
- 地域をめぐる河川や水路
・ きれいな地下水、伏流水、勝部のカバタ土橋、浮気の魚 など
- まちなかのホタル
・ 市街地のホタル、サムズのホタル、焔魔堂横のホタル、今宿川のホタル など
- シンボルとなる樹木
・ 福寿院の榎、皇大神社のクロガネモチ
- 人が集まるまちづくり
・ みらい守山21、えんまどう公園 あまが池プラザ
- 工業団地
・ 古高町、駅前(日本パ・イロン・富士車輛)
- 住民参加の祭
・ 勝部の火祭り、鼓躍り、夏祭りなど
- 子育て環境の充実
・ 守山小学校、物部小学校、子どもラジオ体操、こどもサロン など
- 住民主体の地域活動
・ 高い自治会加入率、敬老会、老人クラブ すこやかサロン など
- 安心・安全の活動
・ 自衛消防隊、防災訓練、火の用心夜回り 子どもの見守り 夏のパトロール
- まちを綺麗にする活動
・ 守山一緑の多い緑町、楓三道の維持活動 駅前にゴミが少ない

第4回 守山学区活性化の取組

「たからもの」と「まちづくりの方向」を関連づけて、どんなことができるか、何をしたら学区が元気になるか、考えてみてください！
これは例です、参考にどうぞ。

【活用するたからもの】
伊勢遺跡 など

【活性化の取組み】
卑弥呼と関連づけ伊勢遺跡をPRする
・ 建物の復元
・ 文化ゾーンの設定 など

【活用するたからもの】
高齢者のパワー、自治会 など

【活性化の取組み】
子育てしやすいまちの日本一を目指す
・ 自治会で子どもを預かる など

＜第3回会議で出して頂いた取組み＞

- ・ シニア世代の活用・活性化
- ・ 子どものつながりづくり
- ・ 河川美化
- ・ ホタルの保護
- ・ 全国に発信できる食の創造
- ・ 中山道案内ボランティアのPR・質の向上
- ・ 伝統行事等の担い手の発掘・育成
- ・ 昔からの慣習を変えるなど自治会活動の見直し
- ・ 活性化ためのルール変更
- ・ 色の統一など景観の向上
- など

第3回 学区の課題とまちづくりの方向

まちづくりの方向

守山に住んで良かったと言われるまちづくり

人を中心としたまちづくり

新旧住民の融合による次世代を担う『人』の育成

将来を見据えた計画的なまちづくり

きれいな水やホタルを守る地域の川や水路の維持

伊勢遺跡や卑弥呼、食などをテーマとした観光の活性化

課題

- 駅前を中心とした急激な人口増加と旧住民の高齢化
・ 地域によって進む高齢化
・ 人口増加による年齢層の偏り
- 人のつながりの希薄化
・ 人づきあいの機会が減少
・ 子どもは多いが街に子どもの姿が見られない
・ 賃貸や高齢者向け住宅の共助意識醸成
- 伝統行事や自治会活動の維持が難しい
・ 若者の自治会活動への参加が少ない
・ 自治会役員の成り手不足
・ 高齢者のパワー活かし取組み不足
・ JRで東西の交流が分断
・ 民俗芸能や神社仏閣の維持・保存
- 新旧住民の関わりが難しい
・ 新住民との意識にギャップがある
- 都市化による農業の衰退
・ 農業の後継者不足
・ 都市計画税による農家の負担増
- 急激なまちの変化への対応の遅れ
・ マンション建設による周辺住民への影響
・ 人口増加による公共施設不足
・ のどかな田園都市の崩壊
- 道路整備が都市化に追いついていない
・ 交通渋滞が多発
・ 通学路等危険な道路がある
- 身近な自然や川を守る必要がある
・ コンクリートの川壁になり、ホタルが減少
・ 先人の構築遺産である地域を巡る用水路を維持管理していくことが大事
・ 地域内の川に水がない
- 豊富な歴史資源が活かされておらず観光の目玉がない
・ 史跡、神社仏閣等を地元民が知らない
・ 古い街並みの消滅
・ 観光客を受け入れられる状態ではない
・ 活性化に使えるユニークな「食」に乏しい
・ 伊勢遺跡をもっとPRすべき

(注) 第2、3回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋